

TDAテキスタイルスクール東京
第3期 特別講座「インテリアトレンドセミナー」

■日時:2月14日(土)

■講師:杉山哲三 古屋興一 今野文雄

1. HEIM TEXTILE 2004 について(会期2004, 1, 14~17 フランクフルトにて)

————— 杉山哲三氏による報告

今回2004のハイム報告セミナーで一番変化したと思った事は、色の使い方が変わった様に思います。特に目を引いたカラーは赤〜ピンク系で、彩度も高めて目を引く色です。この色とモノトーンの組み合わせも新鮮で、今らしい配色だった様に感じます。昨年より続いている二極化はますますエスカレートし従来の概念に捕われずに物作りをする事の大切さを再度認識しました。クオリティーについても(実際に見ていないので断言は出来ませんが)古くからあるクラシックなタイプからハイテクなタイプまで幅広く提案されていた様に思います。身の周りにある要素全てに触覚を張り巡らし、その中から対極的でありながらも新しいハーモニーを生み出す事がトレンドだと言う事だと思います。組み合わせの業は日常の中に沢山あるのですから、それを見定める目(心の目かもしれませんが)を養う努力をしなければと思いました。

2. MAISON&OBJETについて(会期2004, 1, 23~27パリにて)

————— 古屋興一氏による報告

全体のトレンドコーディネーターはネリーローディーであり、昨年のメゾンエオブジェ展より就任している。アパレルのプレタポルテ展を含めインテリアもファッションの一部として捕らえこの時期のパリの街全体をファッションタウンとしてトータルプロデュースしている。メゾンエオブジェに関しては、他にフランソワ ベルナル氏とエリザベス ハリッシュ氏がトレンド発信をしている。今回の全体キーワードは『シークレット』だった。年に二回開催されるこの展示会の今回からの新しい試みとしては、主にビエンナーレに出展しているテキスタイルのエディターが新規に出展した事だと思う。次回は増々出展数が増える様で、やはりファブリックだけで今の新しいインテリアを語る事が難しいのだと痛感する。私達もクオリティーを作る上で、生地だけでなくそれに関わるさまざまな要素の事にも思考を働かせる事が更に重要になって来ると思う。

3. DOMO TEX 2004 について(会期2004, 1, 17~20 ハノーバーにて)

————— 今野文雄氏による報告

私は行った事のない床材・カーペット関係の展示会です。今回の展示会はデザインのトレンドと同様シンプル&モダン化が進んでいるようで、今年の特徴としては特にフローリング関連のアイテムが増えていた様でした。主な傾向を以下にまとめてみたいと思います。

カラーの傾向としては、赤のバリエーション、ナチュラル〜ベージュ系、ワインレッド類が見受けられる様です。ウォームカラーがメインのようでした。また、忘れてならないのはモノトーンです。カーテンの傾向と同様、新鮮さを出す上でははずせないカラーではないでしょうか。タイプの傾向としては、シャギーが色々なテストにかたよらず増えている事だと思いました。日本でも近年シャギーがクローズアップされているが、ナチュラルやモダンテストによく合うので、まだまだ上向きで増加するのだと思います。(レポート 大場 麻美)

